

高齢者世帯へ退院した高齢心不全患者の予後に関与する要因の検討

1. 研究の対象

2021年1月から2022年8月の期間に松江市立病院で心臓リハビリテーション（以下、心リハ）を実施した75歳以上の心不全患者さんのうち自宅退院した患者さんを対象とします。

2. 研究目的と方法

近年、独居の高齢者や同居家族の全てが高齢者である世帯が増加しています。本研究の目的は高齢者世帯へ退院した心不全患者の予後とそれに関与する因子を明らかにすることです。対象患者さんの1年以内の心不全による再入院の有無、1年以内の死亡の有無、年齢、性別、BMI、世帯状況（独居/高齢者世帯）、退院時の血液検査結果（Alb、Hb、eGFR、NT-proBNP）、心臓超音波検査の左室駆出率（Ejection fraction: EF）、退院時の日常生活動作の介護量（Functional independence measure: FIM）を診療録から収集し、統計解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の提供

試料：生体から採取するような試料（血液・尿など）は使用しません。

情報：後方視的に診療記録から1年以内の心不全による再入院の有無、1年以内の死亡の有無、年齢、性別、BMI、世帯状況（独居/高齢者世帯）、退院時の血液検査結果（Alb、Hb、eGFR、NT-proBNP）、心臓超音波検査の左室駆出率（Ejection fraction: EF）、退院時の日常生活動作の介護量（Functional independence measure: FIM）を収集します。

4. 個人情報保護について

得られたデータの管理は対象者の個人情報とは無関係の番号を付して連結可能匿名化として管理し、対象者の秘密保護に十分配慮します。

また、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

5. 研究成果の公表および利益相反について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：松江市立病院 リハビリテーション部 井原 伸弥

住所：〒690-8509 島根県松江市乃白町 32 番地 1

電話番号：0852-60-8000（代表）